

第2章 2024年度の主な成果

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



柱の構成

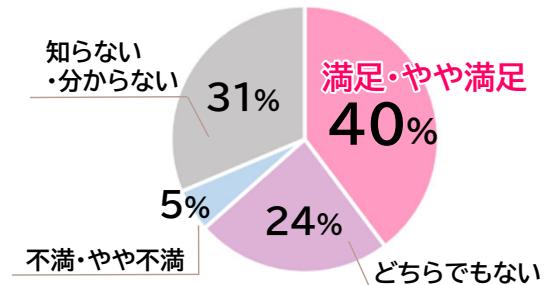
事業名	取組名
1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
2 良好的な森の育成	2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進 3 指定した樹林地における維持管理の支援
3 森に関わる多様な機会の創出	4 森づくりを担う人材の育成 5 森づくり活動団体への支援 6 森に関わるきっかけづくり 7 森の多様な楽しみづくり

実績のまとめ

●緑地保全制度により49.5haの樹林地の指定や、所有者の不測の事態等に対応して樹林地の買取りを進め、まとまりのある樹林地の保全を推進しました。●愛護会と連携して樹林地の保全管理計画を策定したほか、所有者への維持管理の助成など、良好な森の育成を進めました。●森づくり体験会や大学と連携したイベント開催など、森づくりを担う人材育成や市民が森に関わる機会を創出しました。

市民アンケート※の評価

まとまりのある森の保全の満足度



※2024年度実施
横浜市の緑の取組に関するアンケート調査

実績の概要

1. 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

緑地保全制度による新規指定を、旭区の川井宿町特別緑地保全地区や円海山近郊緑地特別保全地区などにおいて、単年度目標の36haを上回る49.5haの樹林地に対して行いました。また、土地所有者の不測の事態等に対応し、7.2haの樹林地を買取りました。みどりアップ計画開始以降の16年間で、1,132.1haを指定しており、計画開始前の3倍以上のスピードで樹林地の保全が進展しています。



川井宿町特別緑地保全地区(旭区)



円海山近郊緑地特別保全地区
(磯子区)



羽沢町具行特別緑地保全地区
(神奈川区)

樹林地保全の進展

これまでのみどりアップ計画
(2009~2023年度)
15年間1,082.5 ha
(72.2ha/年)

みどりアップ計画開始前
(1969~2008年度)
40年間861.9 ha
(21.5ha/年)



2024年度の主な実績

	緑地保全制度による新規指定	市による買取り	保全した樹林地の整備
2024年度実績	49.5ha	7.2ha	推進
5か年の目標	180ha	100ha(想定)	推進

2. 良好的な森の育成

森の多様な機能に着目した森づくりの推進

保全した樹林地の整備では、金沢区の(仮称)富岡東三丁目市民の森の公開に向けた設計を進めたほか、緑区の上山ふれあいの樹林で、地元愛護会と連携しながら保全管理計画を策定しました。

市民の皆様と
豊かな森を
育んでいます



保全管理計画の策定・現地打合せ
(緑区)

2024年度の主な実績

	森の維持管理	維持管理の助成
2024年度実績	推進	134件
5か年の目標	推進	750件

3. 森に関わる多様な機会の創出

森づくりを担う人材の育成

研修や森づくり体験会を実施し、市民の森づくり活動を促進しました。森づくりボランティアの活動では、基本的な研修からスキルアップのための研修など幅広い研修や体験会プランを設けることで、様々な世代の方に森づくりに関わってもらうことができました。



森づくり体験会(戸塚区)

森に関わるきっかけづくり

市内大学や関係団体などの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

図書館と共に開催したイベントでは、ネイチャーゲームなどを通じて、子どもたちが自然や生き物に対する理解を深め、横浜の森について考える機会をつくりました。



森のネイチャーゲーム(瀬谷区)

指定した樹林地における維持管理の支援

緑地保全制度により指定した民有地等の樹林地での、樹木のせん定等の維持管理費用を助成し、樹林地の維持を図っています。



維持管理の助成を行った樹林地(南区)

作業前



作業後

指定した森が
健全に保たれて
います

2024年度の主な実績

	森づくりを担う人材の育成	森づくり活動団体への支援	市内大学や関係団体などの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施	学校と連携したきっかけづくり
2024年度実績	10回	36団体	115回	推進
5か年の目標	50回	175団体	180回	推進

学校と連携したきっかけづくり

小学校への出前授業では、市内大学の学生が講師役を務め、昆虫の体のつくりや生態などの紹介や、学生が制作したカードゲーム等を通して、子どもたちの森の生き物や自然に対する理解を深めることができました。



学生が講師を務める
出前授業(保土ヶ谷区)

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

柱の構成

事業名	取組名
1 良好的な農景観の保全	8 水田の保全 9 特定農業用施設保全契約の締結 10 農景観を良好に維持する活動の支援 11 多様な主体による農地の利用促進
2 農とふれあう場づくり	12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 13 市民が農を楽しみ支援する取組の推進
3 身近に農を感じる地産地消の推進	14 地産地消にふれる機会の拡大 15 地産地消を広げる人材の育成・支援
4 市民や企業と連携した地産地消の展開	16 市民や企業等との連携

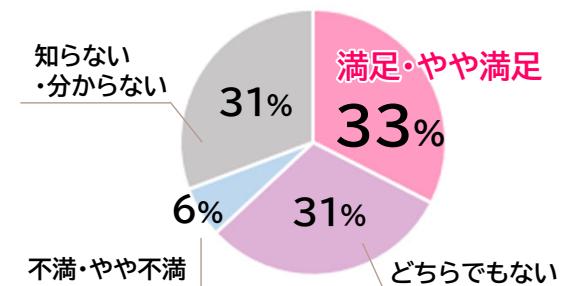
実績のまとめ

●市内の水田112.5haを、継続的に維持するための支援を行い、良好な農景観や生物多様性の保全など、多様な機能を持つ水田を保全しました。●気軽に楽しめる収穫体験農園の開設支援や横浜ふるさと村、恵みの里での農体験教室など、市民が農とふれあう場づくりを行いました。●直売所やマルシェ等の開設や、はまふうどコンシェルジュによるイベント開催などを支援し、市民が身近に農を感じる地産地消を推進しました。



市民アンケート※の評価

良好な農景観の保全の満足度



※2024年度実施
横浜市の緑の取組に関するアンケート調査

実績の概要

1. 良好的な農景観の保全

水田の保全

水田の継続的な保全の支援

市内の水田を、目標面積の97.8%保全しました。新規保全契約に向けた働きかけを丁寧に行ったことで、前年度の保全面積を上回ることができました。



寺家町(青葉区)



東俣野町(戸塚区)

貴重な
水田景観が
保全されて
います

遊休農地の
復元支援により、
新たな担い手が
増えています

多様な主体による農地の利用促進

遊休農地の復元支援

関係者などとの情報交換を図りながら遊休農地の復元を支援し、貸付けを促進したこと、新たな担い手による耕作につながり、農景観の保全を推進しました。



遊休農地の復元(緑区)



復元前 → 復元後



上飯田町(泉区)



田谷町(栄区)

2024年度の主な実績

	水田保全面積	遊休農地の 復元支援
2024年度実績	112.5ha	0.89ha
5か年の目標	115ha	3.0ha

2. 農とふれあう場づくり

様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園の開設に向けて必要な設備の設置等を支援し、イチゴやブルーベリーなど様々な収穫体験ができる場づくりを進めました。



◆収穫体験農園
ナシ狩り(緑区)

市民が農を楽しみ支援する取組の推進

横浜ふるさと村、恵みの里において、体験水田やよもぎ団子教室等、農家による農体験の機会を提供し、市民が農とふれあう場づくりを行いました。



新治恵みの里
冬野菜作り教室(緑区)

柴シーサイド恵みの里
じゃがいも掘り(金沢区)

2024年度の主な実績

	様々なニーズに合わせた農園の開設	横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施	コーディネーター派遣	市民農業大学講座の開催
2024年度実績	3.38ha	119回	12回	35回
5か年の目標	19.5ha	450回	50回	175回

3. 身近に農を感じる地産地消の推進

地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所に必要な設備の導入等を支援したほか、直売所やマルシェ等の開催により、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる機会を拡大しました。



◆杉田野菜直売会
(磯子区)



みなとみらい農家朝市
(西区)

2024年度の主な実績

	直売所・青空市等の支援	緑化用苗木等の配布	市内産花苗の公共施設等での活用
2024年度実績	62件	27,084鉢	2件
5か年の目標	285件	125,000鉢	10件

4. 市民や企業と連携した地産地消の展開

地産地消を広げる人材の育成・支援

はまふうどコンシェルジュ育成講座の開催

育成講座を通じて横浜の農業や地産地消に対する理解を深めた受講生が、講座修了後に地産地消の普及・啓発活動を積極的に行っています。

はまふうどコンシェルジュ

・よこはま地産地消サポート店の活動支援

はまふうどコンシェルジュなどの開催するマルシェや農体験、放課後キッズクラブなどと連携したイベントの開催支援などにより、多くの市民が横浜の農畜産物にふれる機会を創出しました。



市民が横浜の農畜産物にふれる機会が増えています

◆はまふうどコンシェルジュ育成講座(緑区)

2024年度の主な実績

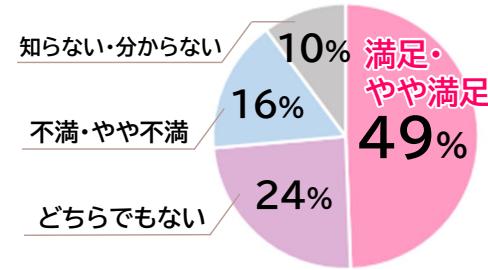
	はまふうどコンシェルジュ育成講座の開催	はまふうどコンシェルジュ・よこはま地産地消サポート店の活動支援	市民や企業等との連携
2024年度実績	1回	37件	15件
5か年の目標	5回	150件	75件

柱3**市民が実感できる緑や花をつくる****柱の構成****事業名****1 まちなかでの緑の創出・育成****取組名**

- 17 シンボル的な緑の創出・育成**
- 18 街路樹による良好な景観づくり**
- 19 公開性のある緑空間の創出支援**
- 20 建築物緑化保全契約の締結**
- 21 名木古木の保存**
- 22 地域緑のまちづくり**
- 23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり**
- 24 人生記念樹の配布**
- 25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成**
- 26 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり**

2 緑や花があふれる地域づくり**3 子どもを育む空間での緑の創出・育成****4 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成****実績のまとめ**

●緑の少ない市街地でも身近に緑や花を実感できるよう、鶴見区の北寺尾六丁目サムエル公園を公開したほか、地域で愛されている桜並木の再生などにより、街路樹による良好な景観づくりを進めました。●地域で取り組む緑のまちづくりを進めるため、緑化の計画づくりや植栽、花壇の整備を支援しました。●校庭・園庭の芝生化、植樹など、子どもを育む空間での緑の創出を行いました。●山下公園などの都心臨海部等で緑や花による魅力ある空間づくりを進めました。

**市民アンケート※の評価****街なかなど身近な場所での緑化の満足度**

※2024年度実施
横浜市の緑の取組に関するアンケート調査

実績の概要**1. まちなかでの緑の創出・育成****シンボル的な緑の創出・育成****公共施設・公有地での緑の創出**

旭図書館と白根地区センター、隣接する公園も含めて散策の楽しみが広がるよう芝生による緑化等を行いました。



白根地区センター(旭区)

公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成

これまで地域に親しまれてきた広場の一部を、災害時のいっぽき避難所などにも利用できるよう整備し、北寺尾六丁目サムエル公園として公開しました。



北寺尾六丁目サムエル公園(鶴見区)

街路樹による良好な景観づくり

大岡川プロムナード、環状4号線、美しが丘中学校サクラ通りなど、地域で愛されている桜並木の再生などを行いました。



大岡川プロムナードの並木の再生(南区)

2024年度の主な実績

	シンボル的な緑の創出・育成	街路樹による良好な景観づくり	公開性のある緑空間の創出支援
2024年度実績	緑の創出 3か所	18区で推進	推進
5か年の目標	緑の創出 5か所	18区で推進	推進

2. 緑や花があふれる地域づくり

地域緑のまちづくり

各地域において、緑化の計画づくりの支援や、花壇の整備、寄せ植えなどの研修費用を助成するとともに、アドバイザー派遣などにより、地域で取り組む緑や花のまちづくりを進めています。

地域に根差した緑や花の楽しみづくり

市民が心を込めて育てている庭や花壇を巡る「オープンガーデン」や各区での公園愛護会を対象とした花壇講習会などの実施は、緑と花を通じた地域のつながりやコミュニケーションの活性化にもつながっています。

2024年度の主な実績

	地域緑のまちづくり	緑や花を身近に感じる各区の取組	人生記念樹の配布
2024年度実績	7地区	18区で推進	6,915本
5か年の目標	35地区	18区で推進	40,000本



地域緑のまちづくり 野庭団地地区での花壇の手入れ(港南区)



港北オープンガーデン(港北区)



山田小学校ビオトープ整備(都筑区)

3. 子どもを育む空間での緑の創出・育成

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

子どもたちが多くの時間を過ごす場所で緑に親しめるよう、校庭・園庭の芝生化やビオトープ整備、花壇づくり、植樹などにより、多様な緑を創出しました。

2024年度の主な実績

	緑の創出	緑の維持管理
2024年度実績	28か所	推進
5か年の目標	100か所	推進

4. 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

山下公園や港の見える丘公園、日本大通りなどで、バラ園や花壇など、緑や花を楽しめる質の高い空間づくりを進めました。



山下公園(中区)



港の見える丘公園(中区)

2024年度の主な実績

	都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり
2024年度実績	推進
5か年の目標	推進



日本大通り(中区)

効果的な広報の展開

柱の構成

事業名

1 市民の理解を広げる広報の展開

取組名

27 計画の周知や実績報告

実績のまとめ

- デジタルサイネージでの動画放映、市民向けイベントブースを出展してのPRやタペストリー展示等を行い、「横浜みどりアップ計画」及び「横浜みどり税」の周知を進めました。

実績の概要

1. 市民の理解を広げる広報の展開



	計画の周知や実績報告
2024年度実績 5か年の目標	推進 推進